

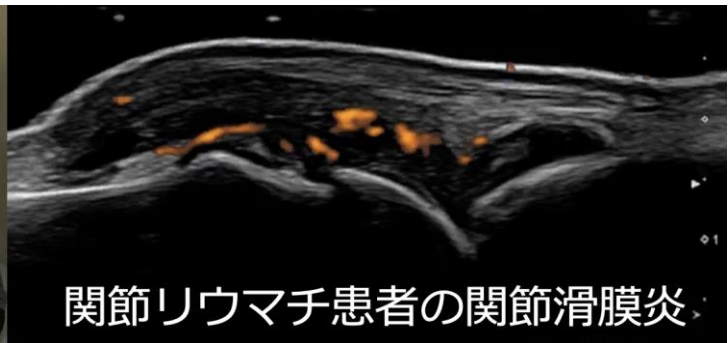


梅雨も明け、すがすがしい夏空の広がるこのごろ、皆様ますますお元気でご活躍のことと存じます。患サポ通信では、当院各科・部の特色や新たな取り組みをご紹介します。今月はリウマチ・膠原病内科と甲状腺内分泌学講座をご紹介します。

リウマチ・膠原病内科

リウマチ膠原病内科は、関節リウマチや全身性エリテマトーデスをはじめとする膠原病全般に対する最先端医療を行なっています。特に関節リウマチ診療の分野では、炎症性サイトカインに対する生物学的製剤や低分子化合物の目覚ましい開発の結果、関節破壊の抑制・患者さんのQOLの改善といった根本的な医療を提供できるようになりました。そのためには、関節炎を早期に、また客観的に評価する信頼性のあるツールが必要です。当科で行なっている関節エコー検査（図）は、外見や触診ではわからないような、関節内外の炎症（滑膜炎、腱鞘滑膜炎、靭帯炎など）を患者さんの侵襲無く、安価に、そして即座に描出することができます。さらに「治療の強化が必要か？治療の減量は可能か？」といった臨床の現場で必要とされるような疑問点にも明確な解答が得られるため、ベストタイミングを外さない適切な医療を早期に行えるようになっています。

リウマチ・膠原病内科



関節リウマチ患者の関節滑膜炎

甲状腺内分泌学講座

甲状腺内分泌学講座では甲状腺、副甲状腺、副腎などの内分泌臓器を対象とした治療、研究、教育活動を内科・外科スタッフ共同で従事することを特徴としております。

また、震災後福島県県民健康管理調査の一環として実施されている甲状腺超音波検診を県民健康管理センターと協力して運営・実施しています。

今回は、甲状腺がんに対する新しい治療薬について紹介します。2022年から甲状腺がんの治療薬として新たに RET 阻害剤（セルペルカチニブ）が加わりました。再発や転移があり、手術療法や放射線治療が不能な方に使用が考慮される分子標的薬（抗がん剤）のひとつです。これまでの分子標的薬よりも治療効果があり、副作用も少ないとされています。

ただし、すべての方に適応があるのではなく、遺伝子検査を行い RET 遺伝子異常が確認された方が適応となります。甲状腺がんの中で最も多いタイプの甲状腺乳頭がんの 10-20% に RET 遺伝子異常が起きていると報告されています。手術検体から遺伝子検査を行うため、手術検体が古い場合は、がん組織採取を必要とする場合があります。

甲状腺内分泌学講座

児童虐待対応研修会

日時：令和5年9月8日（金）18：00～19：00

場所：講堂（公立大学法人福島県立医科大学）

内容：医療機関向け児童虐待対応プログラム
BEAMSについて

講師：第14回日本子ども虐待医学会学術集会大会長
兵庫県立尼崎総合医療センター
小児科長 每原 敏郎 先生

主催：公立大学法人
福島県立医科大学附属病院
児童虐待対応委員会

事務局・問合せ先
福島県立医科大学附属病院
医療連携・相談室
電話 024-547-1818
FAX 024-547-1242



児童虐待 対応 研修会

日時
令和5年9月8日（金）
18：00～19：00

場所
講堂
（公立大学法人福島県立医科大学）

内容
医療機関向け虐待対応プログラム
BEAMSについて

主催
公立大学法人
福島県立医科大学附属病院
児童虐待対応委員会

講師



兵庫県立尼崎総合医療センター
小児科長 每原 敏郎 氏
第14回日本子ども虐待医学会学術集会
大会長

事務局・問合せ先

福島県立医科大学附属病院
医療連携・相談室
電話 024-547-1818
FAX 024-547-1242

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL:024-547-1885(直通) Email:tourokui@fmu.ac.jp